

西府崖線保全活動

後世に残そう
ハケと湧水！

第2回西府わき水まつり開催される

わき水まつり(パート1)を開催

【日時】6月8日(金)～9日(土) 10:00～16:00

ただし、9日は雨のため15:00終了

【場所】市川緑道沿い「あずまや」

【内容】①パネル展示と説明②用水路の生きもの観察

【見学者】2日間で約100人 ※アンケート協力者23人



ザリガニやカワニナなど、夢中になる小学生

パネル展示と東京農工大生の活躍

ハケと用水の昔の風景、ホタル・チョウ・トンボ・野鳥・植物などの生きものたち、樹木名札づけの作業、府中用水の清掃作業、毎月測定しているわき水の水量と水質検査のデータなどハケと用水にかかわる様々なことをパネルに展示。自転車にのって通りすぎようとする人も、気になるのかとめて見学。見学者には随時スタッフが説明。「近くにわき水があることを知らなかった」、「ホタルを観たい」、「少し前から樹木に名札がついて感心していた」、「清掃ありがとう」など様々な反応があった。

今回は東京農工大生(学生 院生 OG)の全面的な協力を得て、用水路の生きもの調査も行った。彼らが用水に入りヤゴ、ドジョウ、カワニナ、ザリガニ、シジミ、オイカワ(約5cmの魚)などとともに、木の上にいるカタツムリも採捕し、あずまや前で容器に入れて展示(終了後は元に戻す)。ザリガニに夢中になって帰ろうとしない小学生たち、カワニナがホタルの幼虫のエサであることを初めて知った若いお母さん、小枝のような珍しい形をしたイトトンボのヤゴに驚く人、カタツムリを手にして同級生らしい女の子を驚かす小学生など、「まつり」にふさわしいにぎわいとなった。

さいごに、今回のスタッフは府中かんきょう市民の会8人と環境問題に詳しい東京農工大生5人である。

いってみれば、中高年と若者の協働作業だったが、思いのほかスムーズにことがはこんだ。中高年の「経験の蓄積」と若者の「専門性」「行動力」がうまくかみ合った。機会があったら、また一緒に活動をしたい。



雨のなか府中用水でカワニナ等を採捕する東京農工大生

わき水まつり(パート2)のお知らせ

【日時】7月14日(土) 13:00～16:00

【会場】西府文化センター

【内容】①講演／生物多様性と崖線の保全を考える
講師 星野義延氏 東京農工大学准教授
②ビデオ上映／ハケのある風景を歩く：

府中・国分寺

制作 渡辺 實氏 NHK映像クラブ所属
(府中かんきょう市民の会会員)

アンケートからコメント抜粋

- ・カワニナを触った！もっと色々な川辺の生き物について詳しく知りたい！（府中西高生 女性）
- ・昔住んでいたところなので、大変なつかしく思いました。貴重な場所のため、後世に伝えてほしい。（60代男性）
- ・いろんな生き物を実際に見て、子供が喜んでいたので、立寄ってみてよかったです。（30代女性）
- ・自然の場所を孫と散歩し体験させたいと思います。大切にしたいと思います。（70代女性）
- ・大変好企画。宣伝して湧水祭り大成功へ。（40代女性）
- ・ザリガニを触れてうれしかったです。もっとたくさんの生物がみたいです。心が和みました。（府中西高生 女性）



あずまや前の展示パネル

- ・近所にこんなに素敵な水路があることを知らなかったの、今日参加してよかった。今後も暇をみつけてお手伝いしたいです。（20代女性）



集めた大量のごみ



名札づけ作業中にカルガモ親子の羽のお通りです

第2回西府がいせん一斉清掃

日時／ 5月12日(土) 晴 10:00~12:00

場所／①あずまや~大山道 ②あずまや~鎌倉街道

参加者／①保全活動チーム12人 ②近所の皆様8人

ごみ量／①燃えるごみ15袋 ②燃えないごみ12袋

※その他一塩ビパイプ、洗濯棒、トレーナー
機器、バイクの前面カバー、缶類



清掃をおえて記念撮影

樹木名札づけ作業

日時／5月7日(月) 晴 13:30~16:50

参加者／10人(準備作業3人含む)

取付エリア／①(ハケ下)あずまや→大山道

②(ハケ上)湧水階段→文化センター前

名札をつけた樹木／49本(27種類)

☆現地では森林インストラクターが樹木名を確認し、事前に作成したプラスチック板にマジックで樹木名と科名を記入し、シロダ縄で取りつける。珍しい樹木としてシロダモ、ケンポナシ、ナンキンハゼ、タブノキ、ハクウンボク、マユミ、サンシユなどがある。



オッと危ない、名札とりつけ作業

西府崖線自然観察記

田中香代子

(日時 2012年2月16日~3月15日 6:40~9:30)

3月7日につぶやくようなウグイスの「ぐぜり」が聞こえ、1週間後の14日には「ホーホケキョ」の声を聞きました。今季のウグイスのさえずりは昨年より2週間ほど遅れましたが、崖線の樹木は3月に入ると一斉に芽吹きはじめ、待ちに待った春が感じられるようになりました。

保護

①昨年の「やちょう」4月号」に記載しました湧水脇の小さな池に放たれた大小様々な魚を狙うアオサギ、コサギのことを書きましたが、今年もアオサギが毎日のように現われました。次々に犠牲になる魚を見かねて近くに住むボランティア(黒岩さん、松村さん)の方々のご協力で池に網が張られました。これでアオサギも降参と思ったのですが、諦めきれないのか数日現われていました。

②キツネノカミソリ(ヒガンバナ科)が毎年200本ほど咲く本宿トンネル脇の崖線に昨年の秋に大々的な下草刈りがありました。幸いにも花の時期が終わった後でありましたのでホッとしたのですが、これからも季節に関係なくこのような作業が繰り返されるとキツネノカミソリが絶えるので

はないかと案じられました。幸いにも府中かんきょう市民の会(西府崖線保全活動チーム)の協力のもと府中市からの許可もあり、ご近所の方の了承も得て、春から夏にかけてのみ立入り禁止のロープと説明文を下げる事が出来ました。お陰さまで3月15日現在青々とした葉が踏まれることもなく繁っています。7月末頃から咲く花が今から楽しみです。

上記期間に観察した野鳥

コサギ、アオサギ、カルガモ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウガラ、メジロ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシブトガラス、外来種ドバト 20種+外来種1

<http://f-env.sakura.ne.jp>

会員募集中!

NPO法人・府中かんきょう市民の会

2012年6月25日(月) No.4

担当／浅田多津子 ☎042-351-8190

進藤礼治郎 ☎rsindo2@gmail.com

編集人／葛西 利武 ☎toshi.k@pep.ne.jp